

マンションコミュニティ研究会

Mansion Community Workshop

マンションコミュニティ研究会では・・・

- ★マンションに暮らすということが、
- ★個人のライフスタイルが大切にされながら、
- ★ゆる～く、でも芯はほっかほかの、新しい「きずな」でむすばれ、
- ★いざというときは一人ではないという「安心」を感じられる
- ★ス・テ・キ！な住まい方だと、マンション居住の意味を再確認し、
- ★一人一人が、マンションコミュニティを大切に育てていくような社会を
- ★作っていくための実践的研究、活動を行います。

★マンションコミュニティに対する思いや情報を共有しながら、 いっしょに研究活動をしていただける皆さんのご参加をお待ちしています！

運営は、様々なアプローチでマンションや住生活の研究や仕事に携わる女性中心に！
サポートして下さるステキな男性会員もたくさんいますよ！！

研究会の主な活動

マンションコミュニティ及びマンションを含む地域コミュニティ形成に関する調査研究
マンション居住者間の新しいコミュニケーションの形の提唱と普及活動
新しいマンションコミュニティ形成のための実践的研究開発及び応援ツールの作成

会 員

正会員：会の目的に賛同し、共に研究活動をして下さる個人又は団体(年会費 10,000 円)
賛助会員：会の事業を支援し、協力関係を築いて下さる個人又は団体(年会費1口 3,000 円) } があります。
(個人の賛助会員は1口以上、団体の賛助会員は10口以上でお願いします。)

- * 正会員と賛助会員を兼ねることもできます。賛助会員の口数は年度ごとの変更が可能です。
- * 年会費は、会計年度(4月1日～3月末日)ごとのお支払いとなります。
- * 正会員の年会費は、入会申込みが年度開始より半年を超過している場合は半額となります。

研究理事

廣田信子(代表) 村澤優子(副代表) 横倉啓子(副代表)
宮川智子(事務局長) 飯田とわ 日下部理絵 都甲喜代見
藤野雅子 山下三貴子 渡辺恭子

マンションコミュニティ研究会事務局

〒158-0094

東京都世田谷区玉川 4-37-6 クリップ生活研究所内

TEL 03-3700-9934 FAX 03-3700-9938

担当：宮川

e-mail: info@mckhug.com

URL: <http://www.mckhug.com> (6月開始予定)

マンションコミュニティ研究会設立に当たって

近年、都市の人間関係の希薄さ、孤立、孤独死といった無縁社会が大きな問題となっています。一方、マンションは多くの人々が住まいを共有し共同で生活するが故の合意形成の難しさ、人間関係のトラブルといった課題も抱えています。

そのような状況の下、マンションには、防災・防犯、地域の環境保全、高齢者の見守り、子どもの健全育成など多様な分野で役割が求められるようになり、コミュニティ形成の重要性が語られるようになりました。しかし、多様な価値観を持つ人が集まって住むマンションで、昔のような濃い人間関係に戻ろうというのは無理があります。コミュニティ行事等の仕掛けも、人とコミュニケーションをとるのが苦手な人や様々な事情を抱えている人にはハードルが高く、一番繋がって欲しい孤立しがちの人ほど、そこから取り残されてしまうという現状があります。

それでも、人の間で生きるのが「人間」です。人がその場所で安心して暮らすには、どこかで周りの人と繋がっているという安心感が不可欠で、孤立しがちな人も本当は「きずな」を必要としているはずです。でも、どのように働きかければよいか分からなかったり、近い存在ゆえに自分の領域を守るために踏み出せないという声が聞こえてきます。

しかし、マンションという集住スタイルは、本来、個々のライフスタイルが大切にされながら、人とどこかで繋がっているという「安心」を感じられるステキな住まい方なはずなのです。

それぞれの事情やライフスタイルを尊重し合いながらも、「お互い様！」と思える相手に対する想像力を育て、「他人事ではない」とさりげなく心を配り合うような新しいコミュニティを作っていけないだろうか・・・と私たちは考え始めました。そして、できることから行動を起こそうと決意しました。

お隣同士、上下で暮らすことになったのも「ご縁」です。年1回、その縁を思い起こし、遠い友人に年賀状を送るように、近隣にも年賀のカードを送ってみよう。共同生活は、知らぬ間に、人にお世話になったり、迷惑を掛けたりして成り立っているものです。なかなか面と向かって言うチャンスがないけれど、せめて、感謝の気持ちをカードに託して伝えよう。

カードを送るというちょっとした勇気をきっかけに、人の心の扉がゆるみ、それが周囲に広がっていく・・・1枚のカードから始まった繋がりが、小さな交流を生み、それが、孤立や孤独死を防ぎ、災害時の助け合いに繋がる、まさにコミュニティのセーフティネットがゆるやかにつくられる・・・そんな未来を夢みます。

私たちは、マンションが、人の気持ちを察し、心を配りながら、誰かのために今自分ができることをする喜びを学ぶ学校として機能し、マンションという集住のスタイルが本当に価値あるものになるための実践的研究、活動を、この「心を伝えるカード」を送る運動からはじめようと思います。

2010年4月吉日

代表 廣田 信子

マンションコミュニティ研究会入会申込書

20 年 月 日

個人又は団体名 _____ (フリガナ: _____) 所属 _____

団体の場合の担当者氏名 _____ (フリガナ: _____)

〒 _____

住所 _____ ご案内した会員名

を記載下さい。

TEL _____ () FAX _____ () 紹介者 _____

メールアドレス _____ @ _____

正会員(10,000円/年) 賛助会員(1口 3,000円/年 × _____ 口)

* 該当するところにチェックし、賛助会チェックした場合は口数を()内にご記入ください。

* ご記入の上、この用紙のまま、03-3700-9938へFAXし、左記に年会費をお振り込み下さい。

入金確認をもって、入会手続き完了とさせていただきます。領収書入力の方はお申し越してください。

<振込先>

三井住友銀行 千代田営業部
普通 2104845

マンションコミュニティ研究会
郵便振替 0150-5-377784
マンションコミュニティ研究会